

# 福祉ちば

No.150

2010.11.15発行

地域の福祉、  
みんなで参加

赤い羽根  
共同募金



- 題名:「運動会」
- 作者:吉田 隆さん 38歳  
(知的障害者更生施設 吉沢学園)

この作品は「第37回手をつなぐスポーツのつどい絵画展」の展覧全85作品の中から最優秀賞を受賞した作品です。手をつなぐスポーツのつどいは知的障害者の方の体力増進と親睦をはかるため、毎年行われています。今年度は11月5日(金)に開催され、本作品は平成22年9月1日～10月31日まで千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンター内に掲示されていました。

## 目次

- P2～3 えーるちば ひとりひとりの思いをかたちに — 社会福祉法人 佐倉市社会福祉協議会 / 千葉県共同募金会佐倉市支会  
車椅子貸出業務を郵便局が代行 — 社会福祉法人 八街市社会福祉協議会 / 八街市内郵便局
- P4～5 地域貢献活動を通じて、施設と地域が結びつく — 社会福祉法人 千葉県福祉援護会 特別養護老人ホーム「ローゼンヴィラはま野」  
子ども達の存在自体が地域とのつながりを生む — 社会福祉法人 木更津大正会 地域子育てセンター「ゆりかもめ」東清分館
- P6 情報 FLASH 第4回 認知症メモリーウォーク・千葉 / 平成22年度 ユニークダンスのつどい / 成年後見制度個別相談会 / 平成22年度「福祉しごとミニフェ・inまつど」 / 成年後見制度個別相談会
- P7 首都圏 年内就職応援キャンペーンを実施します！
- P8 わたしたちの社会貢献活動 — ちばぎんグループ 「ちばぎん ハートフルプロジェクト」ほか



# ひとりひとりの思いをかたちに

## 共同募金にこめられた「まごころ」を大切にしたい

昭和22年から始まり今年で64回目となる、赤い羽根共同募金運動が、本年度も10月1日からスタートしました。福祉、そして善意の循環とも呼べるこの共同募金。しかし、それを取り巻く環境は様々な事情により、年々厳しくなっているのもまた事実です。そこで今回は、独自の努力と工夫により、目標額を毎年達成し続けている、千葉県共同募金会佐倉市支会の関わる活動をご紹介します。

### ●昨年度より説明会を開催

佐倉市支会では昨年度から町内会や自治会等、各団体の代表者を対象とした、「共同募金に関する説明会」を行っており、本年度も9月23日に志津コミュニティセンターと佐倉中央公民館で開催しました。

同会では、集まった募金がどのように使われるかを重点的に説明。また、募金を活用した全国の先進的な取り組みをビデオで紹介しました。「募金の使途を改めて説明することで、この募金運動が“じぶんの町を良くするしくみ”に寄与することを知って欲しい。そのために去年からはじめた説明会なのです」と、同会の意義を語る佐倉市支会の瀧寄博事務局長。

### ●“気持ち”や“思い”を循環させる数々の工夫

他にも数々の工夫を重ねており、その一つが納金袋です。佐倉市支会では大小2種類の納金袋を使用しており、これは共に、市民やボランティアの方々による手作りで、その材料も、小さな納金袋に使われている晒（さらし）は、佐倉市内でボランティアで行われている、使用済み切手等の収集活動で集まったお金で購入。大きな納金袋には、千葉市内の民間企業から提供を受けた反物を使用しています。

さらに赤い羽根も、葉へと加工したものを用意。この葉は、一つひとつが小さな子ども達の手作りとなっており、それ



佐倉市支会 瀧寄博事務局長



ぞれに心のこもったメッセージやイラスト等が描かれています。

また、街頭での募金運動に於いても様々な方法を模索しており、去年は盲導犬と暮らす全盲の女性（佐倉市ではこの方唯一人）などに募金運動の協力を依頼した他、市内の中学校とグループホームで暮らす障害を持つ方々に、一緒にポスターを作ってもらったりなど、様々な試みを行っています。

「私達は、市民の皆様から募金と共に預かりしている、“気持ち”や“思い”を循環させたいと、試行錯誤を繰り返している最中であり、手作りの納金袋や赤い羽根の葉、さらに市民への協力依頼も、その答えのひとつなのです」と、佐倉市支会の山岡恵子さんは語ってくれました。

### ●福祉の循環を目指して

佐倉市支会は今後の募金運動について、安定を図る意味もあり、民間企業や各種法人からの募金を増やしたいと考えており、「可能ならば、これらの民間企業や各種法人を訪ねる際に、募金の配分を受けている方々に同席していただき、直接「ありがとう」という言葉を伝えたいのです。何故なら、ただ（募金を）お願いするだけでなく、その結果をきちんとお見せすることが、福祉の循環に繋がると思うのです」と、瀧寄事務局長。

佐倉市支会の目指す、福祉の循環に繋がる募金の仕組みづくりは、今後、さらに拡がりを見せるでしょう。

# 車椅子貸出業務を郵便局が代行

## みんなの「あったらいいな」が実現！郵便局長も便利を実感！

平成16年11月24日、八街市社協は市内にある郵便局と「車椅子貸出業務に関する覚書」を締結し、以後、八街市在住の方々は身近な郵便局で、車椅子を借りることが出来るようになりました。

当業務は、郵便局側から八街市社協に持ち込まれた提案が実現したもので、現在は市内に6つある郵便局に、常時2～3台の車椅子が配備されています。

高齢化率がもうすぐ20%を超える八街市では、年々、車椅子の需要が増え続けており、平成21年度の八街市社協の車椅子貸出件数は、約120件となっており、八街市社協には約75台もの車椅子がありますが、近年、それでも足りない状態が続いています。

ちなみに、八街市社協にある車椅子は、その大半が民間企業や互助会、さらにボランティア団体や個人等から寄付されたものです。今回取材した川上郵便局の車椅子は、ドラッグストアや調剤薬局を全国展開しているツルハグループとトイレタリー、薬品、食品事業を展開しているクラシエグループ

から千葉県社会福祉協議会に贈呈されたものです。

「八街市は広いので、八街市社協まで足を運ぶのは困難、という人も多いと思われます。したがって、身近な郵便局で車椅子を借りられることは、市民のニーズにあった、とっても良いお話だと思います」と語る八街市社協の綿貫敏宏事務局長。

現在、県内の市町村に於いて、郵便局での車椅子貸出業務を行っているのは八街市社協と四街道市社協のみ。しかし、先駆けとなったこの2市の結果如何によっては、追従する市町村が出てくると思われま。

さらに、八街市社協では郵便局と協働した、新たな業務展開を模索中とのこと。これが実現すれば、八街市民の生活はさらに便利になるでしょう。



八街市社協 綿貫敏宏事務局長



## 利用者の立場で 車椅子貸出の意義を 改めて実感しました！

(川上郵便局長／日暮泰浩さん)

当局では常時2台の車椅子を用意しています。八街市は広いので、八街市社協まで行くのは大変という地元の方々から、「助かっている」「便利だ」という言葉をいただきます。

(車椅子を) 借りこられる理由は事故や怪我、病院に行くためなど様々ですが、中には「米寿のお祝いに行くため」「お花見に連れ出したい」などという理由もあり、そんな時は、ここで車椅子を貸しているから、それが出来るのだと、非常に嬉しい気持ちになります。

車椅子の有難さは、本当に必要な場面にならないと解らないものです。実は今年、私の息子が足を骨折してしまい、その時に利用させていただいたのですが、改めて“あって良かった”と実感しましたね。そして少し贅沢かも知れませんが、機種やサイズがもっと選べればとも思いました。

今後はこの車椅子を利用し、近くの小学校と一緒に、福祉教育などに役立てることが出来ればと考えています。

## 車椅子貸出業務を 行っている郵便局

- 八街郵便局 (TEL.043-443-0011)
- 川上郵便局 (TEL.043-445-5010)
- 南八街郵便局 (TEL.043-443-0012)
- 山田台郵便局 (TEL.043-445-4001)
- 榎戸駅前郵便局 (TEL.043-442-0001)
- 八街文違郵便局 (TEL.043-442-2001)

※事前に在庫があるかご確認ください。  
〈貸し出し期間〉  
6ヶ月以内（それ以降は更新手続きを再度窓口で申請できます）。  
〈貸し出し対象者〉  
八街市内にお住まいの障害を持つ方や高齢者。その他、ケガなどにより車椅子を必要とし、介護保険制度を利用していない方。（貸し出し期間が短期の場合は、介護保険制度を利用されている方でもお貸しできます）。  
詳細は八街市社会福祉協議会へ  
(TEL.043-443-0748)



# 社会福祉法人の地域貢献活動

## 地域貢献活動を通じて、施設と地域が結びつく

社会福祉法人 千葉県福祉援護会  
特別養護老人ホーム「ローゼンヴィラはま野」



「ローゼンヴィラはま野」主任 山田由布子さん

障害者支援施設や特別養護老人ホーム、さらにケアハウスの運営等、数多くの福祉関連事業を展開している千葉県福祉援護会は、「私たちは、地域社会になくしてはならない存在でありたい」という基本理念の下、平成12年より法人内に地域福祉推進委員会を設置し、そこで策定した地域福祉推進計画に基づき、それぞれの施設や地域の特性に合わせた、様々な地域貢献活動を行っています。

今回はその中から、千葉市中央区にある特別養護老人ホーム「ローゼンヴィラはま野」の活動をご紹介します。



防犯パトロール



セーフティウォッチ活動

現在、「ローゼンヴィラはま野」では、誰もが安全に、安心してこの町で暮らしていけるよう、地域の一員として地域社会とのパートナーシップを大切に、福祉文化に貢献することを目指して、地域貢献活動を推進しています。施設の入居者・利用者が地域の一員として生活を送るために、職員がそのお手伝いをさせていただくことを活動の基本としています。また、社会福祉法人として、これまで培ってきた福祉の専門性やノウハウ、公共性の高い施設としての機能を活かした地域貢献活動も実践しています。

主な活動内容は、施設近くの交差点で、児童の通学路の安全を確保し、不審者等から守ると同時に、挨拶や声掛けを行う「セーフティウォッチ活動」（週2回）。地元老人クラブの定例会に参加し、介護予防講座を開催する「ふれあい広場」（月1回）。施設や設備（陶芸窯等）、備品等を提供しての陶芸教室「ほほえみ広場」（月1回）。この「ほほえみ広場」は主に団塊の世代に対する生涯学習の場ともなっています。さらに、施設周辺のごみ拾い等を行う「地域清掃活動」（年4回）を行っています。

また、施設そのものが「子ども110番の家」「防犯連絡所」となると同時に、施設の車両に「防犯パトロール」のステッカーを貼り

巡視を行い、地域の安全確保に役立てています。さらには、職員の有志でボランティアサークル「ローゼン倶楽部」を結成し、週1回業務終了後、ゴミ拾い活動を行いながら、「防犯パトロール」を実施しています。

これらの地域貢献活動の中でも、「防犯パトロール」や「セーフティウォッチ活動」に関しては、近隣に住む方々から「助かっている」という、感謝の声が寄せられています。

「この活動を通じ、地域の方々と施設との距離が縮まったように感じています」と「ローゼンヴィラはま野」の地域福祉推進委員の山田由布子さん。事実、現在は活動前と比べ、地域住民が施設の行事やボランティア活動に参加して下さる機会が増えるなど、緊密な関係が築かれていると言えます。

今後の展開としては、地域包括ケアを形作る地域の拠点として、千葉市が平成22年に策定した「千葉市災害時要援護者支援計画」への協力を視野に入れながら、地域になくしてはならない施設としての地域貢献活動を推進していくことを検討しています。



ふれあい広場



ほほえみ広場の参加者による陶芸教室（ボランティア）



現在、我が国の福祉を取り巻く環境は、少子高齢化をはじめとする諸問題や、度重なる関連法案の改正等により、大きく変化しつつあります。しかし、このような不安定な状況下にあるからこそ、社会福祉の中核的な担い手である社会福祉法人は、その機能や役割を存分に発揮し、さらなる社会貢献を求められていると言えます。そこで今回は、社会福祉法人の運営する施設が、地域社会の中で行っている貢献活動をご紹介します。

## 子ども達の存在自体が地域とのつながりを生む

社会福祉法人 木更津大正会  
地域子育てセンター「ゆりかもめ」東清分館



「ゆりかもめ」主任 竹田よしえさん

今年で創立95年を迎えた木更津大正会は、子ども達を里山で遊ばせ、自然の中から様々なことを学ばせるといふ、ユニークな育児方法（その様子はテレビや雑誌でも紹介され、記録映画も制作されています）が話題となった、「木更津社会館保育園」の運営で知られています。しかしその他にも、市の委託事業である地域子育てセンター「ゆりかもめ」（本館・寺町分館・東清分館）や、JR木更津駅前に建てられた「木更津子ども人形劇場」を運営する他、近年は児童保育所の設立にも力を注ぐなど、木更津地域で永きに渡り、様々な地域福祉事業を展開しており、今回はその中から「ゆりかもめ」東清分館の、子育て支援を通じた地域貢献活動をご紹介します。

木更津市日の出町にある「ゆりかもめ」東清分館は、廃止された旧市立東清保育園の施設を利用し、市内で2つ目となる「つどいの広場」として2006年に開館しました。

利用対象となるのは未就学の児童とその保護者。開館は毎週火・金・土曜日の10:00～15:00まで。半年毎の登録制（利用料1,000円）となっています。

同館の特徴のひとつとして挙げられるのが、決められた活動スケジュールが存在せず、遊びや食事はもちろん、施設の清掃やメンテナンス、さらに企画や運営の一部までもが、利用者（主に母親）の自主性に委ねられている点です。

これは、それぞれの利用者が持つ多彩な才能や技能を存分に発揮し、



子ども達に大人気の「戸棚迷路」

自己アピールして欲しいとの考えからです。また、子ども同士、母親同士が互いに話し合い、協力しながら物事を進めることで、「子育ては自分一人でするものではなく、他のお母さんや地域に住む人々の力を借りても良い。子育てをしているお母さんは、決して孤独ではないのだと、私達は伝えたいのです」と、同館の竹田よしえ主任。

結果、その活動は館内にとどまらず、前述した「木更津子ども人形劇場」での母親の有志による人形劇や、「ゆりかもめ」が中心となり、今年で第7回目を迎える「木更津子どもまつり」（2010年11月20日（土）開催）での出店など、さらなる拡がりを見せています。

また、子育て支援を通じた地域貢献については、昭和40年代に開発され、高齢化の進む近隣の木更津東清団地に暮らす方々と、パザーやお花見等、様々なイベントを介してコミュニケーションを図る度に、「子ども達の声を聞くだけで元気を貰えると、多くの方々に言っただきます」と、竹田主任。

この地域では子ども達の存在自体が、地域への貢献や活性化に繋がっています。



リサイクル部屋「もったいないプラザ」



木更津子ども人形劇場



米一合と野菜一品の持ち寄りで行われる野外昼食会



## 第4回 認知症メモリーウォーク・千葉

- 日 時／平成22年11月21日(日)  
(小雨決行・荒天中止)
- 集 合 場 所／稲毛海浜公園内稲毛記念館前広場
- 参 加 費／無料
- 主 催／第4回認知症メモリーウォーク  
千葉実行委員会  
委員長 結城 康博(淑徳大学)
- 内 容／10:00 受付  
10:30 開会式  
メモリーウォーク  
12:00 閉会式
- お問合せ先／千葉市高齢福祉課  
TEL 043-245-5168

## 平成22年度 ユニークダンスのつどい

- 日 時／平成22年12月12日(日)  
13:30～15:30
- 場 所／八街市中央公民館
- 参加費／無料
- 主 催／社会福祉法人八街市社会福祉協議会  
八街市ボランティア連絡協議会
- 対 象／どなたでも
- 内 容／ユニークダンス(ふれあいパーティー)を通じ、  
参加者同士の交流を深める。  
ばらんざっくによる本格生演奏に合わせて  
障がいのある方もない方も楽しくおどりま  
しょう。  
ボランティアも募集しています。
- お問合せ先／八街市社会福祉協議会  
TEL 043-443-0748  
担当：尾形淳五

## 社会福祉施設経営相談

- 日 時／12月・1月の相談日  
(各相談とも10:00～12:00で要予約)
- 会計等相談  
12月6日(月)・20日(月)・1月6日(木)・  
17日(月)
- 労務等相談  
12月1日(水)・15日(水)・1月5日(水)・  
19日(水)
- 法律等相談  
12月8日(水)・22日(水)・1月12日(水)・  
26日(水)
- 場 所／千葉県社会福祉センター3階 経営相談室
- 相談料／無料
- 対 象／県内社会福祉施設の方
- 内 容／相談は要予約ですので、各相談日の11時ま  
でに電話で御予約下さい。
- お問合せ先／千葉県社会福祉協議会  
福祉サービス事業部 福祉施設経営支援班  
TEL 043-245-4450

## 平成22年度 「福祉のしごとエリア面談会・inまつど」

- 日 時／平成22年12月4日(土)  
資格取得相談会 10:30～12:00  
(受付10:00～)
- 個別就職相談会 13:00～16:00  
(受付12:30～)
- 場 所／松戸商工会館  
松戸市松戸1879-1
- 参加費／無料
- 主 催／千葉県福祉人材センター
- 対 象／社会福祉施設等への就職希望者  
福祉・介護分野の仕事に関心のある方  
福祉の資格取得に興味のある方  
福祉系学校への進学希望の方
- 内 容／○各社会福祉施設等の採用担当者と参加者  
の対面方式により求人内容、職場の説明  
などを行います。  
○千葉県福祉人材センターにて求職登録の  
受付、福祉資格等についての相談、情報  
提供並びに福祉のしごとこころの相談な  
どを行います。  
○松戸公共職業安定所及び福祉系養成校と  
連携し、介護機器体験の実施や福祉につ  
いての各種相談、情報提供を行います。
- お問合せ先／千葉県福祉人材センター  
TEL 043-248-1294  
FAX 043-242-0774

## 成年後見制度個別相談会

- 日 時／平成23年2月6日(日) 10:00～16:00
- 場 所／千葉県社会福祉センター5階大研修室
- 参加費／無料
- 主 催／千葉県弁護士会、千葉司法書士会、千葉県  
社会福祉士会、千葉県社会福祉協議会
- 対 象／一般県民
- 内 容／弁護士、司法書士、社会福祉士がペアを組み、  
法律と福祉の両面から、成年後見制度に関  
する様々な相談に応じます。
- お問合せ先／千葉県後見支援センター  
TEL 043-204-6012  
FAX 043-204-6013

## 成年後見制度研修会

- 日 時／平成23年1月30日(日) 9:50～16:30
- 場 所／千葉市蘇我勤労市民プラザ4階多目的ホール
- 参加費／資料代1,000円
- 主 催／千葉司法書士会、社団法人成年後見セン  
ター・リーガルサポート千葉支部、千葉  
県社会福祉協議会、千葉市社会福祉協議会
- 対 象／一般県民、福祉関係者
- 内 容／成年後見制度の概要や成年後見人の職務に  
ついて学び、制度の利用促進を図ります。
- お問合せ先／千葉県後見支援センター  
TEL 043-204-6012  
FAX 043-204-6013

## 首都圏 年内就職応援キャンペーンを実施します!

依然として厳しい雇用情勢が続いている中で、居住・生活にお困りのかた(離職者)が一人でも多く年内に再就職し、安心して年末年始を迎えられるよう、平成22年11月から12月にかけて各種支援策を各ハローワークにて集中して行う「首都圏 年内就職応援キャンペーン」を実施します。  
※実施内容は各ハローワークによって異なります。



上記の他、以下のとおり「ワンストップ・サービス強化期間」(11/24～11/30)として実施します。

下記の2つのハローワークでは、「ワンストップ・サービス・デイ」を実施します。

- |   |   |
|---|---|
| <p>① ハローワーク千葉<br/>千葉市美浜区幸町1-1-3<br/>TEL.043-242-1181<br/>●平成22年11月29日(月) 午後1時～午後4時<br/>相談内容／●仕事の相談(職業相談・紹介)<br/>●住宅に関する相談(住宅手当の相談、あっせん)<br/>●生活の相談(貸付、生活保護等)<br/>●その他の相談(こころの相談、多重債務の相談等)</p> | <p>② ハローワーク千葉南<br/>千葉市中央区南町2-16-3 海気館蘇我駅前ビル4階<br/>TEL.043-300-8609<br/>●平成22年11月26日(金) 午後1時～午後4時<br/>相談内容／●仕事の相談(職業相談・紹介)<br/>●住宅に関する相談(住宅手当の相談、あっせん)<br/>●生活の相談(貸付、生活保護等)<br/>●その他の相談(こころの相談、多重債務の相談等)</p> |
|---|---|

下記の3つのハローワークでは、「多重債務相談」「こころの健康相談」等を実施します。

- |  |  |   |
|--|--|---|
| <p>① ハローワーク市川<br/>市川市南八幡5-11-21<br/>TEL.047-370-8609<br/>●平成22年11月26日(金)<br/>午後1時～午後4時</p> | <p>② ハローワーク船橋<br/>船橋市本町2-1-1 船橋スクエアビル<br/>TEL.047-420-8609<br/>●平成22年11月26日(金)<br/>午後1時～午後4時</p> | <p>③ ハローワーク松戸<br/>松戸市松戸1307-1 松戸ビル3F<br/>TEL.047-367-8609<br/>●平成22年11月25日(木)<br/>午後1時～午後4時</p> |
|--|--|---|

(注意) 現在仕事を探されている各ハローワークの管内にお住まいの方で、実施する相談内容を希望する方が対象になります。  
詳細については開催ハローワークにお問い合わせください。

安心を支えます

# ボランティア活動保険

<http://www.fukushihoken.co.jp>

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償



### 特長

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償
- 地震など天災によるケガも補償(天災タイプご加入の場合)

年間保険料 Aプラン...280円 Bプラン...420円 天災タイプも  
あります

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、取扱代理店にお問い合わせください。

お申込み、お問合せはあなたの地域の社会福祉協議会へ

社会福祉法人  
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

### ボランティア行食用保険

地域福祉活動の一環として行うボランティア活動に関する各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

### 福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネージャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

### 送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

<引受幹事保険会社> 日本興亜損害保険株式会社



# わたしたちの社会貢献活動 ..... ちばぎんグループ



九十九里浜クリーンウォーク



ゆめ半島千葉国体2010のボランティア

## Q ちばぎんグループの社会貢献活動に対する考え方について教えてください。

**A** 当行グループは地域とともに歩む地方銀行グループとして、持続可能な地域社会実現のため、CSR活動に積極的に取り組んでおります。なかでも地域貢献活動は大きな柱であり、「未来を育む」をキーワードに「ひと」「環境」「産業」の育成に資する様々な活動を展開しています。また、取り組みにあたっては、グループ役職員一人ひとりが当事者という意識を持って活動することを基本に置いております。

## Q 具体的な取組内容について教えてください。

### A ○ちばぎんハートフルプロジェクト

ご高齢のお客さまやお身体の不自由なお客さまが安心してお取引いただけるよう、ハード・ソフト両面を整備するプロジェクトです。

具体的には、営業店の店舗出入口を中心にスロープ、手すり、点字ブロックの整備等を行う「営業店バリアフリー改修工事」（対象となる138店で工事完了）、「視覚障がい者対応ATMの設置」（当行のすべてのATM設置拠点に設置済み）及び「行員のサービス介助士2級取得の促進」（平成22年9月末時点で344名）などです。



全営業店の窓口に備え置く助聴器

### ○公益信託ちばぎんハートフル福祉基金

千葉県内の法人または団体が行う社会福祉に係る事業（障がい者福祉、高齢者福祉、児童福祉等）を、当行が長期にわたって資金面からお手伝いしていくことを目的に平成21年11月に設定した基金です。平成22年4月より、第1回の

助成先を公募した結果、14団体への助成が決定し、同年8月に助成金の交付を行いました。

### ○Vネットクラブ活動

当行役職員およびOBが個人で行うボランティア活動を支援するために「Vネットクラブ」を設置しました。同クラブでは、ボランティア活動を希望するOBを含むグループ役職員の募集・登録、ボランティアの斡旋、活動情報の提供及び活動のバックアップなどを行っています。

ボランティアの主な活動事例としては、毎年6月に開催される「九十九里浜クリーンウォーク」、県内各地での環境美化活動及び森林整備活動などがあります。また、今年地元で開催された「ゆめ半島千葉国体2010」及び「ゆめ半島千葉大会2010」においてもグループとしてボランティア活動を行いました。

### ○その他に…

障がい者雇用の一層の促進を図るため、平成18年12月に「ちばぎんハートフル株式会社」を設立しました。同社は、平成19年5月には地方銀行の100%子会社として初めて「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づく「特例子会社」の認定を受けています。



ちばぎんハートフル株式会社の役職員

株式会社千葉銀行 CSR推進室

所在地：千葉市中央区千葉港1-2 TEL:043-245-1111(代表) ホームページ <http://www.chibabank.co.jp>